

## 肉用牛広域後代検定推進事業

藤森祐紀・笹沼清孝・大川清充・木村安之

### Individual Performance Test of Sire in Japanese Black Cattle

Yuuki FUJIMORI, Kiyotaka SASANUMA, Kiyotaka OHKAWA and Yasuyuki KIMURA

#### 要 約

黒毛和種雄子牛5頭について、(社)全国和牛登録協会が定める産肉能力検定直接法に基づき飼育し検定した。

検定の結果は、1日平均増体量の平均が1.23kgで、5頭すべてが発育判定3以上であった。

1頭を選抜し、後代検定を実施することとした。

キーワード：和牛，種雄牛，直接検定，改良

#### 緒 言

肉用牛の改良を図るため、優れた種雄牛を選抜することを目的に、肉用牛広域後代検定推進事業により選定した基礎雌牛から生産された雄子牛5頭を選抜し、(社)全国和牛登録協会が定めた産肉能力検定直接法に基づき飼育し検定した。

#### 材料および方法

##### 1 供試牛

肉用牛広域後代検定推進事業で選定した基礎雌牛から、指定交配により生産された生後日齢204～234日齢の雄子牛5頭

##### 2 検定期間

112日間とし、検定開始前20日間を予備飼育に充てた。

##### 3 飼養管理

牛房は舎内10.7㎡と舎外11.2㎡の運動場を併設した単房式で、給水はウォーターカップにより、給塩は鉍塩を用いて自由摂取させた。

飼料は産肉検定(直接法)用配合飼料を体重比1.3%給与した。併せてチモシーの乾草を草架から自由採食させた。敷料はおがくずを使用し、牛床の清掃は毎日実施した。

##### 4 調査事項

体重測定は2週間毎、体各部の測定は4週間毎に実施し、開始時と終了時に体型評価を行っ

た。

飼料摂取量は毎日調査し、摂取養分量は「日本標準飼料成分表 2001年度版」より算出した。

#### 結果および考察

- 1 検定を終了した5頭の成績は表-1のとおりである。
- 2 1日平均増体量の平均は1.23kgであった。
- 3 (社)全国和牛登録協会が定めた体高値による発育判定は4が1頭、3が4頭であった。
- 4 検定を終了した5頭のうち、安茂高4を選抜し、後代検定を実施することとした。

表-1 直接検定成績の概要

整理番号	329	330	331	332	333	
名号	夏照	安千代	勝	安茂高4	春福栄	
登記記号番号	2004子茨黒 1185196212	2004子茨黒 1200044726	2004子受卵茨黒 1179189107	2004子茨黒 1206402490	2005子茨黒 11831176070	
生年月日	H16. 6. 27	H16. 10. 4	H16. 10. 3	H17. 1. 22	H17. 4. 26	
生時体重	28	41.5	28	30	28	
父	安平照	千代桜	福栄	安平照	福栄	
母	なつこ	ながの	やすこ	しげこ	くにはる	
検定開始年月日	H17. 2. 16	H17. 5. 11	H17. 5. 11	H17. 8. 24	H17. 11. 16	
開始時日齢	234	219	220	214	204	
開始時体重(kg)	245	273	207	242	279	
開始時体高(cm)	114.4	108.4	106.4	112.0	112.5	
検定終了年月日	H17. 6. 8	H17. 8. 31	H17. 8. 31	H17. 12. 14	H18. 3. 8	
終了時体重(kg)	380.0	450.0	335.0	390.0	379.0	
終了時体高(cm)	126.0	123.0	120.2	125.6	121.0	
1日平均増体量(kg/日)	1.21	1.58	1.14	1.32	0.89	
終了時審査得点	82.4	81.7	80.9	82.7	81.0	
365日齢補正体重(kg)	403.0	503.7	372.6	441.5	422.6	
1Kg増体当りTDN	4.6	3.9	3.8	4.1	5.5	
粗飼料摂取率(%)	58.0	55.0	52.1	51.9	52.0	
期待	枝肉重量	3	-	-	2	1
育種価	ロース芯面積	1	-	-	3	2
順位	脂肪交雑	2	-	-	3	1
発育		3	3	3	4	3
終了時 体型特徴	優點	資質 体上線	尻 体積	乳器 被毛	資質 体伸	資質
	欠点	前幅 外腿	前駆 均称	体積 後駆	外腿 肋の張り	前駆 腿
選抜の有無				選抜		